

かけはし

常総市議会だより



目次

Page 2-3

かけはしインタビュー
いしげ結城紬

Page 4-11

9月定例会議
かけはし一般質問

Page 11-12

審議案件と結果
9月定例会議

Page 13-14

決算特別委員会を
開催しました

Page 14

県への要望書を県西
市議会議長会へ提出！

Page 15

子ども向けパンフレット
「市議会ってなあに？」を配布しました
橋百景の写真が投稿しやすくなります！

Page 16

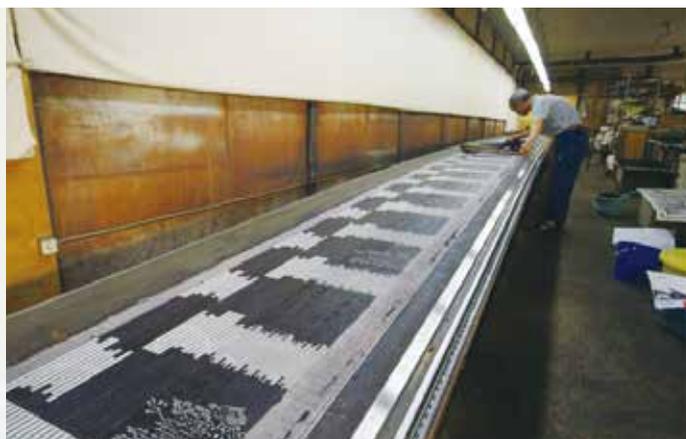
常総橋百景
「第十六景 豊水橋」
12月定例会議予定

No.248

発行月：2024年11月
責任者：常総市議会議長
編集：議会広報委員会
発行：常総市議会
0297-22-0318
www.city.joso.lg.jp

動画でみる
常総市議会





茨城県結城郡織物協同組合 理事長 小林 茂博 さん

かけはし インタビュー

市議会 × いしげ結城紬



市議会(以下、議会)

いしげ結城紬の歴史をお聞かせください。
いしげ結城紬は、937年の「国宝将門記」に記録が残っており、鬼怒川沿岸の地で桑が栽培され、絹織物がこの地方の重要な産物として千年以上という非常に長い歴史を持っています。明治時代後期には※けんめんこうしやく絹綿交織※きめかすりものの試作に成功し、高級絹緋物を主体に生産が行われるようになりました。昭和30年頃まで「いしげ織り」として発展し、昭和55年には「いしげ結城紬」が統一名として制定されて、昭和63年には茨城県郷土工芸品に指定されています。

議会

取り組んでいる作品や活動についてお聞かせください。

理事長

基本的には受注で生産しており、海外の有名ブランドから服地やインテリア素材の注文を受けることも多いです。生地の色付けするのではなく、糸の段階で柄付けをして織るというのとはとても珍しい技法とのことで、私たちが何気なくやっていることが世界的にも評価をされています。

また最近では、水海道第二高等学校家政科生徒の作品制作のために、端切れを提供しました。若い世代がいしげ結城紬に興味を持ってきて端切れを活用してくれるのは非常に嬉しいです。

※絹綿交織：絹糸と綿糸を混ぜて織ること、またその織物の総称。

議会

やりがいについてお聞かせください。

理事長

商品として織っている段階と、それが完成した形では全然違いますから、完成したのを見るのは作り手として喜ばしい瞬間です。

また、商品を着た方が、産地に来てくれることがあります。それを見て、改めて我々が作ったものはいいものだと実感します。今まで当たり前に行ってきたことですが、改めて見ればすごい技術の集団だなと思います。

議会

現在、力を入れていることについてお聞かせください。



水海道第二高等学校家政科の生徒の作品。
いしげ結城紬の端切れを使った「まるっこつむぎ」

理事長

後継者不足の問題がありますので、現在は担い手の育成に力を入れています。生産性を保つためにも一人でも多くの担い手を育成することがいしげ結城紬を維持するために重要なことだと考えていますので、興味がございますいたらぜひ組合にお問い合わせください。

議会

今後の展望や、市民・いしげ結城紬に興味のある方へ伝えたいことをお聞かせください。

理事長

まずは、いしげ結城紬に興味を持ってもらうことが大切なのだと感じています。いしげ結城紬がどのように出来るのか見学等も受け付けておりますので、希望の方は組合に電話をお待ちしております。

(令和6年8月インタビュー)



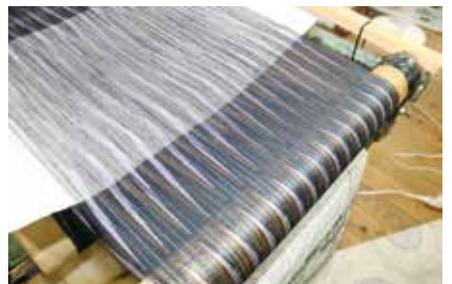
いしげ結城紬で作った
干支の置物とコースター



一本一本、柄を確認しながら機織りをしています



糸を解し、巻いています



茨城県結城郡織物協同組合
常総市新石下 3666
TEL : 0297-42-2201
FAX : 0297-42-4772



聞きたい
知りたい
まちのこと
市政のこと

常総市議会映像配信中!! <https://joso-city.stream.jfit.co.jp/>



※内容は発言議員本人からの寄稿によるものです。



柴典明 議員

議員

防災訓練の実施状況について伺う。

市長公室長

毎年度の当初に、新規採用職員、管理職、また、避難所開設担当者を対象とした階級に応じた職員訓練を実施している。今年度は、6月に県と合同で八間堀川の内水氾濫を想定し、災害対策本部の設置運営、避難所の開設と運営、避難行動要支援者の避難支援などの避難力強化訓練を行っている。

議員

今年度、私は全国的な研修に参加した。内容は、「過去に学ぶ災害対応と自治体防災」というテーマで、熊本県危機管理防災企画監を務めた有浦隆氏が講師であった。講師から、この研修受講後、一般質問する際は、ぜひ防災訓練の質問をと提言され、今回の質問に至った。また私は、鬼怒川決壊当時市職員として災害対策・復旧に従事していたことや、当時の職員がすでに退職していること、危機管理課職員の配置換え等の事情により、災害訓練について、心配をしてい

答 弁 質 問

市の防災訓練実施状況について
階級などに応じた職員訓練を
実施している

柴議員の
質問動画



た。以上を踏まえて市長から今後の災害に対する備えや考えを伺う。

市長

災害に強い防災先進都市を目指すことに三期目も変わりない。水害に対する備えのマイタイムラインは地震には通用しない。防災士連絡協議会や消防団、広域消防、自主防災組織との連携等がより重要になってくる。引き続きあらゆる災害を想定した防災訓練を実施し、災害に備えていく。また市民の皆さんと一緒に災害に備え、訓練を強化していくことが大事だと考える。議員に意見もいただきながら、さらなる防災先進都市を目指して頑張っていく。

議員

市長の三期目に向けた災害に対する力強い考えを聞くことができ私をはじめ市民の皆様は安心して思う。引き続き、防犯・防災力強化をお願いしたい。





中村 博美 議員

質問

誰もが参加できる
ごみ拾い活動に取り組もう

答弁

積極的な地域活動への参画を
促していく

中村議員の
質問動画



議員

年3回実施している市内一斉清掃に加えて、9月の第1日曜日を市民クリーン大作戦(仮称)として、市内在住者、誰もが参加できるとごみ拾い活動に取り組む考えはあるか。本年7月31日の中学生議会でも以前から私が取り組んでいるごみ問題が取り上げられ、中学生の目線からもごみの目立つ市なのだと考える。中学生はきれいなまち並みに似合わないごみ問題を解決したいと考え、外国人の方々の交流を含めた地域ボランティアで実施ができないかと発言している。

産業振興部

学生については、自分で住んでいる地域の方と一緒に参加できる市内一斉清掃等の地域活動への参画を促していく。また、外国人の方々が参加する各種講座においてボランティア活動への参画につなげていきたい。

議員

市内一斉清掃の実施方法は市内でも様々だが、根新田地区は残念ながら不法投棄が多く、9月にご

生活環境課長

市内の不法投棄箇所は7か所、既にごみが捨ててある道路の中央分離帯や歩道等のばい捨て箇所は5か所程度把握している。

議員

ごみ問題はモラルとセンスだといわれている。中学生が市内一斉清掃で外国人の方々と交流しながら参加したいと発言してくれている。若い方たちのモラルとセンスは良いものを持っていると思う。また、地元には熱い思いを持ち、積極的に活動している方々も多いため、その方々の力をお借りしてきれいなまちづくりに向け、以前に行っていた9月のごみ拾い実施を強くお願いする。

市長

ふるさとをきれいにするのは心もきれいになる活動だと思う。外国人を含めた市民とクリーン作戦ができるように様々な形で意見を聞いていく。



塚本 治男 議員

質問

石下駅周辺および石下駅東側(地域交流センター周辺を含む)のまちづくりについて

答弁

AIまちづくりを更に進展させ常総市の新たな拠点として整備を進める

塚本議員の
質問動画



議員

市長の公約である「まちなか再生」に大きな期待を寄せている。石下中心市街地の今後のビジョンを市民の皆さんへ公表し、夢をもって展開されることを望む。石下橋から駅前ロータリーまでの道路整備の進捗状況について伺う。

都市建設部長

県によって石下橋を含む谷和原筑西線までの627mが共用開始され、現在は大房原宿線までの158mの整備が進められている。市では県の道路整備と駅前広場整備が一体となる事業が開始できるとの協議を進めている。

議員

旧石下庁舎跡地の活用について伺う。

市長公室長

石下駅周辺の基本計画と連携し、石下市街地の公共施設再編及び市街地の利活用を検討していく。

議員

石下駅周辺開発の計画について
当市の考えを伺う。

都市建設部長

石下駅周辺の基盤整備の検討を

進めるため、令和6年3月に策定した石下駅前広場等整備基本計画に基づき、関係諸団体と連携を図り協議を重ね、事業化に向けた準備を進めている。

議員

地域交流センター東側残土置場の現状と今後の計画について伺う。

市長公室長

東日本高速道路(株)より令和7年3月末に返還される予定であり、その後は、AIまちづくりの取り組みを更に展開させ、新たな魅力を発信するエリアとして整備を進めていく。

議員

市長のまちづくりの考えを伺う。

市長

石下駅前開発と交流センター周辺の新たなまちづくりと併せて、新しい石下地域の拠点づくりを進めてまいりたい。

議員

石下地区の住民として、具体的な活性化ビジョンを早急かつ強く要望する。特に若い世代が当市に暮らし続けたいと思えるようなまちづくりをお願いする。

一般質問



岡野 一男 議員

質問

今後の下水道計画について

答弁

坂手地区の下水道事業は接続率、費用対効果を勘案して検討する

岡野議員の質問動画



議員

坂手地区の公共下水道の進捗状況を尋ねる。

下水道課長

平成22年3月、坂手地区から下水道早期供用開始に関する要望書の提出があり、また下水道浄化センターの用地取得に協力していただいた経過を鑑み、平成25年度に坂手地区の一部を公共下水道事業の計画区域に編入した。

都市建設部長

平成28年度から面整備を行い、令和5年度に完了している。

議員

事業は完了したというが、未実施の区域がある。法令に従い工事を進めているのであれば未実施の区域は早急に実施すべきである。法の下の平等に反していないか。

下水道課長

残った区域については、接続率、費用対効果を勘案して検討したい。

議員

未着手の区域はどこか。

下水道課長

未着手区域は、樋ノ口、本郷の一部、宿の一部である。

議員

坂手の下水道工事が行われた区域外でも、今後開発が行われる計画がある。きちんとした面整備は必要ではないか。

下水道課長

新しくできる開発地区の下水道整備は、進出予定の企業業種等を勘案し、検討していきたい。

議員

坂手地区の下水道接続率を伺う。

下水道課長

市で設置した公共柵226個に対して接続した数は44件で19%である。

議員

受益者負担金や使用料が高いといわれているが、下水道事業と同じような優遇策はあるか。

下水道課長

優遇策はない。

議員

下水道接続率のアップを考えるならば、優遇策は必要ではないか。未着手地域の早期実施と併せて早急に検討を強く要望する。



石塚 剛 議員

質問

防災に関する現状の取り組みと今後について

答弁

今後、より一層の防災先進都市を目指していく

石塚議員の質問動画



議員

避難行動要支援者の個別避難計画において、各地域の協力と今後の整備の考え方について伺う。

防災危機管理課長

今後、地域協力による避難行動要支援者の個別避難計画作成を検証し、市内への展開を考えている。

議員

災害時情報発信ツール「防災専用AIチャットボット」「耳で聞くハザードマップ、音声コードアプリ」導入提案の進捗を伺う。

防災危機管理課長

「AIチャットボット」は、内閣府が主導となりSIP第2期に開発後、民間で新たな開発を進めている。調査研究を重ね、最善なものを導入できるように進めていきたい。音声発信について、まずは、国土交通省の重ねるハザードマップで現在地データから災害リスクを読み上げる機能を活用、周知を図り、「音声コードアプリ」については、今後の国や県の動向を注視していきたい。

議員

避難所のエアコン設置に関する

今後の計画を伺う。

防災危機管理課長

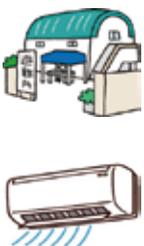
指定避難所29か所のうち、エアコン整備済みが9か所、未整備が20か所となっている。小中学校校舎は、平成27年度までに空調設備整備済みであるが、小中学校体育館の空調設備は未設置となっている。昨今の熱中症警戒アラート等の頻発により、体育の授業や部活動にも支障が生じることになり得るため、次年度以降、国の交付金を活用し、小中学校体育館の空調設備を整備していく。

議員

避難所の環境整備に関する市長の所見を伺う。

市長

公共施設、避難所、小中学校体育館エアコン整備の年次計画を指示した。今後もあらゆる災害を想定し、関係機関、市民の皆さんと連携を図り、より一層防災先進都市を目指していく。





吉原 晴照 議員

質問

当市の上水道の状況について

答弁 水道料金の安定化と市民サービスの強化に向けて推進していく

吉原議員の質問動画



議員

当市の上水道の普及率について伺う。

都市建設部長

令和6年7月末現在で91.9%となっている。

議員

上水道の普及率を北海道地区と石下地区に分けて伺う。

水道課長

北海道地区の普及率は89.7%で、石下地区の普及率は95.3%となっている。

議員

当市として、上水道普及率を100%にする計画はあるか。但し、井戸水を使用している地域の方にはそれなりの諸事情があると推測される。無理に上水道に切り替えることは出来ないと考えるが、上水道に切り替えるメリット等があるのか伺う。

都市建設部長

上水道の普及率を100%にしたいと考えている当市では、県の補助制度を活用し、新規加入者には負担金を一律3万円減額する制度や、月額基本料金1885円を

12ヶ月分免除する制度も実施している。さらには、加入促進のため職員による戸別訪問を行っている。

議員

当市の将来の水道事業を考え、県のホームページを見たところ、県水道広域化推進プランの記載があった。当市の上水道広域化についての考えを伺う。

都市建設部長

上水道の広域化は、県が目標とする令和7年2月の基本協定締結に向けて協議中である。当市としては、災害時のライフライン確保を最優先課題とし、水道料金の安定化、市民サービスの強化に向けて、議論している。

議員

上水道事業は市民生活に必要な水であり、広域化については、メリット・デメリットがあるが、人口減少や上水道施設の維持管理等の負担増もあるために、近隣市町村の動向を注視して検討すべきである。また、災害時の対策として老朽化した配水管の更新計画を早急に進めることを要望する。



草間 典夫 議員

質問

社会体育施設「指定管理者制度」の業務範囲におけるリスク分担は...

答弁 1件5万円未満の修繕については指定管理者側で、それ以上の修繕は市で対応している

草間議員の質問動画



議員

社会体育施設の指定管理者制度の成果並びに課題等について伺う。

教育部長

平成27年度からミズノグループを指定管理者として1期5年間の期間で指定し、現在は2期目（令和7年3月31日まで）となっている。導入の成果としては、民間企業の専門的なノウハウが各種教室やスタッフ対応の市民サービスに生かされている。また、市としては施設設備、保守点検業務等を一任することにより、職員の業務効率化が図れたことである。

生涯学習課長

施設の躯体や大がかりな設備更新については市の対応範囲となり、これらの老朽化が課題である。

議員

市民からの施設の不具合箇所の指摘や改善要望等への対応を伺う。
生涯学習課長
軽微な修繕（1件5万円未満）については指定管理者側で対応、指定管理者の修繕範囲を超える経年劣化による修繕や暴風、洪水及び地震等の不可抗力による損傷につ

議員

いでは市が対応している。

議員

① 水海道及び石下総合体育館トレーニング室のランニングマシン故障、② 吉野サンビレッジサッカーコート周りのネット高さの改善、③ きぬテニスコート2面の使用不可について対応を伺う。

生涯学習課長

① レンタルにより利便性の維持と確保に努める。② 緊急対応として早急な改善を行い、また中期的視野でのリニューアルを検討している。③ テニスコート全体のより有効な改善策を模索する。

議員

チェック体制の整備として、指定管理者に対するモニタリングの必要性について伺う。
教育部長
月及び年度終了ごとに提出される報告書をもとに、市担当職員と指定管理者による定例会議で課題や改善点の協議を行っている。
議員
マンネリ化や独断を防ぐために、継続または定期的な観察、記録（モニタリング）も必要と考える。

用語 【躯体】建築物全体を構造的に支える骨組み部分のこと（基礎、基礎杭、壁、柱、土台、筋かい、床版、屋根板、梁など）
【モニタリング】対象の状態を継続的または定期的に観察・記録すること



柳井 真吾 議員

質問

市内中学校の部活動地域移行について

先行できる部活動に対し、順次積極的に支援、推進していく

柳井議員の質問動画



議員

部活動の地域移行に向けて、当市の課題について伺う。

教育部長

活動場所や指導者の確保、あるいは活動時の安全、活動費用の支出先が課題として明らかになった。また、競技によってはそれぞれ特性が全く異なることから、その競技ごとに市の協力方策を考えることも課題の一つとなっている。

議員

これらの課題を踏まえて、当市はどのように部活動の地域移行を進めていくのか、今後の方向性について伺う。

教育部長

教育委員会としては、全体に通じる総合的な地域部活動ガイドラインとなるものを示す必要があると考えている。そのためには、各分野からの多様な意見を集約して、一定の形にしていく必要があることから、早急に検討委員会などを立ち上げていく。なお、部活動の地域移行に関しては、各部の特性を鑑みながら対応していく必要がある。移行のスピードも様々な考

一般質問

えられるため、先行できる部活動に対しては順次積極的に支援、推進していければと考えている。

議員

議員

具体的にいつまで、どのようなガイドラインを策定していく考えなのか、伺う。

生涯学習課長

ガイドラインについては、今年度中にスポーツ及び文化芸術分野の各団体の方や保護者の代表者、また学校関係者等からなる検討組織を立ち上げ、課題等の検討を行い、来年度中には総合的なガイドラインを取りまとめたい。

議員

生徒や保護者、教員、スポーツや文化芸術活動関係者の皆様も今後、部活動がどうなっていくのか、心配されているので今後の方向性を早く示してほしい。すでに動き始めているスポーツクラブもある。しっかり声を聞き、協力、支援をしていただきたい。子どもたちが地域の中で笑顔にあふれ、スポーツ・文化芸術活動に親しめる環境を行政が地域全体を支えていただくことを強くお願いしたい。



入江 越史 議員

質問

広報常総7月号(第222号)に掲載された、防災特集の内容について

今後、公助はもとより、自助、共助の取り組みを促進してまいりたい

入江議員の質問動画



議員

広報常総7月号の表紙に、「自分の命は自分で守る」と書いてあった。しかし、自助が難しい、または自助をお願いできていない方がいるのではないかと推測される。当市では自助をどのように位置づけているのか伺う。

市長公室長

防災対策については、行政による公助はもとより、住民一人一人が自発的に行う自助や、地域や御近所の方々と助け合う共助なくしては、災害に対処することは困難である。自助という言葉の意味自体は、住民一人一人が自発的に行う防災活動という意味だが、当市として何もしないということではない。今後、公助はもとより、市民の安全を守るために重要な自助の取り組みをさらに促進してまいりたい。

い記述にできるのではないかと感じた。全体の記述と構成について、なぜこのようにしたのか。

議員

市長公室長

記述については、広報紙は一つの内容に特化したチラシやパンフレットなどと違い、掲載分量に限りがあることから、一度の掲載ですべての内容を網羅するものではなく、市民の皆様の内容を認知してもらい、行動につながるためのきっかけとしていただくことであるので、今回の特集は自助の必要性を認識していただき、行動に移していただくための足掛かりとして考えていきたいということを目的とし、作成をしている。

議員

内容と、それをどう伝えていくか、その点はまだまだよくしていくという前向きな課題であると思うので、よろしく願います。

議員
広報常総7月号は一般的な知識を記載し、自助は非常に大切であるという意図はとも感じるが、果たして本当に自助で備えを実行するまで至っているのか、もっとよ





中村 安雄 議員

質問

坂手工業団地が未来産業基盤強化プロジェクトに選定されたメリットは

答弁

各種手続きがスムーズに行われ、スピーディな産業用地確保が可能となる

中村議員の質問動画



議員

坂手工業団地は県の未来産業基盤強化プロジェクトの産業用地開発地区に選定されたが、これによってどのような優遇措置を得ることができるのか伺う。

都市建設部長

通常は長期間を要する開発に係る各種手続きの協議を県の各担当部局が連携し、横断的な体制で支援していただくことでその後の用地買収や造成事業の着手までの期間も短縮でき、企業立地をスムーズに行うことが可能になることなどが挙げられる。

当市としても、このプロジェクトの選定を生かして、国、県及び地域住民との連携を強化し、企業の立地ニーズにスピード感を持って対応することで新たな産業用地の確保に取り組んでいきたいと考える。

議員

企業用地として有効な活用ができるように地元としては全面的に協力をする体制はできている。本件は市の財政力強化に繋がると考えるが、市の取り組みを伺う。

都市建設部長

産業用地開発を進める上では、周辺環境への配慮をはじめ様々な課題が生じると想定される。市としても関係部局が連携して企業誘致が早期に実現できるように積極的に取り組んでいく。

議員

企業進出により市の財政運営に力を入れやすくなったと思われるが市長の考えを伺う。

市長

議員にも支援、協力をいただきこのプロジェクトが進行しているところである。目的は何よりも市の財源確保、そしてその先にある市民サービスの拡充であり、やりたいことはたくさんあるが、財源がなければ実効性が伴わない。人口減少時代になくはならない財源になると考えるため、国や県と連携してスピーディーに進めていく。

議員

坂手地区が大きく貢献できるようになってきた。財源を有効活用した取り組みを期待する。



佐藤 剛史 議員

質問

Hondaとの連携強化について

答弁

様々な連携においてHondaへ積極的に提案していきたい

佐藤議員の質問動画



議員

現在のHondaとの連携状況について、協定とコンソーシアム、それぞれの現状を伺う。

産業振興部長

本協定の主な取り組みは2点。①知能化マイクロモビリティの進化と実現に向けた市内での技術実証実験の実施②AIや自動運転等の先進技術を活用したまちを活性化するアイデアの創出となっている。②では市内の子どもたちにAI講座やキャリア教育など、将来のAI人材育成に向けて重点的な取り組みを始めた。今年度は市内中学一年生とのAIワークショップ「Honda ASVILab」での校外学習の受入れ、秋からはHondaのエンジニアなどによるロボットプログラミング教室の開催に向け準備を進めている。今後は教育分野以外にも取り組みを進め、さらにAIまちづくりを推進してまいりたい。

議員

栃木県茂木町にHondaの所有する「モビリティリゾートもてぎ」がある。世界選手権のできる

大変すばらしい施設を当市の子どもたちにも見学してもらいたい。

商工観光課長

「モビリティリゾートもてぎ」については多くの教育機関に選ばれた施設であり、この縁をきっかけにAIまちづくりにおける教育の取り組みとして活用連携を検討するとともに、車、バイクなどHondaブランドのモーターリゼーションに触れ合える機会ができればと考えている。

議員

Hondaが実証実験をしているすぐ横の豊田城を活性化する取り組みは。

産業振興部長

技術実証実験においては市場ニーズがあることや技術開発につながる点が重要。市民や議員の皆様からも意見を頂戴しHondaへ積極的に提案していきたい。

議員

Hondaの車両展示や民間イベントを誘致し、豊田城というハコモノが自力でランニングコストを稼げるような企画取り組みをお願いしたい。

一般質問



坂野 茂実 議員

質問

車いすを利用していらっしゃる高齢者や障がい者に対しては、安心して生き生きと暮らせる環境の整備を

答弁

各種制度や事業について市民への周知を図っていく利用については気軽に相談していただきたい

坂野議員の質問動画



議員

車いすを利用していらっしゃる高齢者や障がい者に対しては、安心して生き生きと暮らせる環境の整備を

福祉部長

歩行が困難な方には、介護保険制度で住宅改修や福祉用具の貸与、障害福祉制度でも住宅改修や移動支援事業、補装具費支給などがある。外出支援では、自動車の窓に掲示する駐車カードの発行、市独自事業として初乗り料金を補助する福祉タクシー券の発行、車椅子のまま乗車できるリフトカーの貸出し等を行っている。

議員

歩行が困難な方の助けとなるリフトカーの貸出しだが、利用するための条件を伺う。

福祉部長

自ら歩行することが困難な障がい者や高齢者、社会福祉団体及びボランティア団体、社会福祉施設が対象で、利用目的は、医療機関への通院や保健福祉施設への通所、公共的施設を利用する場合や社会参加のための各種行事、研修会への参加などの場合となっている。

利用料金は無料だが、消費した燃料については補給をしていただく

利用できる日数は、一回の貸出しにつき5日間以内、利用日の7日前までに社会福祉課への申請が必要となる。

議員

リフトカーを必要とされる方は多数いると思われるため、市民が必要な時に利用できる環境を整備してほしい。次に福祉バスを利用するための条件を伺う。

福祉部長

市が行う事業や行事、また補助団体が行う公共的な事業や行事に利用できる。

議員

福祉バスとは、社会福祉課所管の福祉に寄与するものであり、福祉関係の団体にもっと活用されるべきと考える。リフトカーと併せて、社会活動への参加が困難な方々に、参加をされて人間関係を深めるために活用されるよう望む。それには、利用の計画を気軽に相談ができる体制を整え、外出が困難な方々が外出を楽しみ生き生きと暮らせる環境を整えてほしい。

議員

J O Y B U S の夏休み期間の無料化の結果についてお聞かせ願いたい。

都市建設部長

7月12日から8月31日までの利用期間で194枚利用いただいた。まずは乗車してもらうことで、知ってもらおうということに一定の効果があったものと考えている。

議員

194枚しか使われなかったというのはやはり欠陥があるのだろうと考える。利用者からどのような意見があったか伺う。

都市計画課長

意見の詳細は、便数が少ない、運賃が高い、こういうルートがいいのではないかと等があった。今後見直しに繋がっていききたい。

議員

事業開始早々に検討、見直しという事業は果たして存在するのか。あらためてJ O Y B U S を走らせる意義をお聞きしたい。

都市建設部長

まちづくりに対応した公共交通網の構築を実現する観点から、居

質問

J O Y B U S の見直しを一刻も早く

答弁

公共交通活性化協議会に諮り、来年4月に見直しを実施したい

堀越議員の質問動画



住地から中心拠点、地域拠点への地域内移動に対応することをコンセプトとし、市内を網羅的に走らせるということで運行ルートを設定した。しかし利用しにくいという意見が多く届いているので来年4月に見直しを実施したい。

改善を最初から前提にした計画ではまずいと考える。実際に市民の批判にさらされている。これは厳しく問われなければいけないと思う。免許証返納者、お年寄りの買い物や病院に行く、そのためのものではないのか。

議員

そういうご要望が一番多いが、運行開始当初は市内全域を走らせることが大きな課題であった。現在は病院、買い物物の2つをターゲットにルートの再編を検討している。利用状況を分析しながら2、3年かけてランディングしたい。

都市計画課長

2、3年という時間は市民の感覚とずれている。空のバスを走らせているのは税金の垂れ流しではないか。早急に改善をお願いする。

議員

2、3年という時間は市民の感覚とずれている。空のバスを走らせているのは税金の垂れ流しではないか。早急に改善をお願いする。



茂田 信三 議員

質問

安全・安定・安価な水を

答弁

県の広域連携検討調整会議で水道料金の安定化、市民サービス維持向上に意見を述べ、市として努力する

茂田議員の質問動画



議員

飲料水（上水道）の安全性と今後の経営方針をお伺いする。

都市建設部長

市では毎月水質検査を行い、安全を保っている。経営方針については、県の広域連携検討調整会議の中で浄配水場の最適化配置と経営の一体化について議論している。

議員

最も大切なことは、①安全②安定供給③安価な金額である。その三つが三位一体で市民が望むことである。今問題となっている有価フッ素化合物（PFAS）は検出されていないか。報道されているだけで五十市町村と聞いている。

都市建設部長

8か所で検査した結果、国の暫定基準値を大幅に下回っている。

議員

供給元を一本化する予定であると議員全員協議会で報告があったが一本化すると事故の時危険である。その対策はどう考えているか。

水道課長

一系統の場合、何らかの事故で

供給が出来ない場合に備え、供給元の二系統を会議で要望している。

議員

要望だけでは駄目である。確約を取り付けなければならぬ。また、供給を一元化した時、料金を値上げされては、市民は非常に困る。

水道課長

十年間は値上げをしないと説明を受けている。

議員

配水管について、四十年以上経過しているのはどれくらいあるか。

水道課長

更新の詳細は計算できていない。金額はおおよそどのくらいかかるか。

議員

耐震化もあり、かなり高くなる。

水道課長

議員

それでは答弁にならない。早急に積算をすること。災害時の井戸水の使用は、安易にはいけない。飲料には適さないため、安全を確認して、トイレなど限定的に利用すること。

令和6年9月

定例会議 審議案件と結果

色の付いていない部分は全会一致、色付き部分は賛否が分かれた案件で12ページに掲載しております。

議案番号	議案名	内容	審議結果
議案第21号	令和6年度常総市一般会計補正予算（第2号）	補正予算の増額分 7,520万円 補正予算後の総額 242億5,577万9,000円	可決
議案第22号	常総市税条例の一部を改正する条例について	地方税法の改正に伴い必要となる改正を行うほか、入湯税に係る規定の整備、その他所要の改正を行うもの	可決
議案第23号	茨城租税債権管理機構規約の変更に関する協議について	茨城租税債権管理機構規約の変更に係る協議を行うもの	可決
議案第24号	常総市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	大規模災害発生時に国民健康保険税の職権による減免を可能とする規定を追加する改正を行うもの	可決
議案第25号	常総市国民健康保険条例の一部を改正する条例について	国民健康保険法の改正により、被保険者証が廃止されることに伴い、条例中の被保険者証に関する規定を削る改正を行うもの	可決
議案第26号	常総市生産緑地地区の区域の規模に関する条例について	生産緑地法の規定に基づき、本市における生産緑地地区を定めることができる区域の規模に関する条件を定めるもの	可決
議案第28号	令和6年度常総市一般会計補正予算（第3号）	補正予算の増額分 1億6,520万4,000円 補正予算後の総額 244億2,098万3,000円	可決
議案第29号	財産の取得について	議会棟3階本会議場及び議会棟2階大会議室に設置する会議システム機器等の取得について、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例に定める額を超えていることから、相手方と仮契約を締結したので提出するもの	可決
議案第30号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書提出について	陳情第2号の採択により、議会としての意見書を国に提出するもの	可決
議案第31号	常総市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	令和6年9月30日をもって任期満了となることから、引き続き中山奈央氏を委員に任命するもの	可決

議案番号	議案名	内容	審議結果
認定第1号	令和5年度常総市一般会計歳入歳出決算認定について	歳入総額 264億3,483万6,562円 歳出総額 248億5,621万884円 実費収支額 15億7,862万5,678円	認定
認定第2号	令和5年度常総市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	歳入総額 63億1,730万1,782円 歳出総額 63億700万7,823円 実費収支額 1,029万3,959円	認定
認定第3号	令和5年度常総市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	歳入総額 15億7,407万6,822円 歳出総額 15億7,227万2,887円 実費収支額 180万3,935円	認定
認定第4号	令和5年度常総市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	歳入総額 56億1,451万7,830円 歳出総額 54億2,904万5,663円 実費収支額 1億8,547万2,167円	認定
認定第5号	令和5年度常総市介護サービス事業特別会計歳入歳出決算認定について	歳入総額 2,030万4,447円 歳出総額 1,854万988円 実費収支額 176万3,459円	認定
認定第6号	令和5年度常総市水道事業会計決算認定について	収益的収支 収入 16億419万5,881円 支出 14億7,780万716円 資本的収支 収入 3億5,128万518円 支出 7億2,943万6,262円	認定
認定第7号	令和5年度常総市下水道事業会計決算認定について	【公共下水道事業】 収益的収支 収入 10億4,656万3,559円 支出 9億7,938万282円 資本的収支 収入 10億7,114万5,270円 支出 11億7,061万4,803円 【大生郷特定公共下水道事業】 収益的収支 収入 2億23万7,221円 支出 1億9,210万2,930円 資本的収支 収入 1,317万5,000円 支出 4,895万4,662円 【農業集落排水事業】 収益的収支 収入 2億8,332万8,563円 支出 2億6,107万1,445円 資本的収支 収入 8,428万8,000円 支出 1億3,360万328円	認定
請願第5号	「千葉市再生資源物の屋外保管に関する条例」と同様の条例を常総市においても制定していただくこと	千葉市同様の「再生資源物の屋外保管に関する条例」の制定を求めるもの	不採択
陳情第2号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める陳情	少人数学級の検討、教職員定数改善の推進及び義務教育費国庫負担制度の堅持に係る意見書を国へ提出することを求めるもの	採択
推薦第2号	人権擁護委員の推薦について	令和6年12月31日をもって任期満了となることから、引き続き瀬戸隆海氏を推薦するもの	推薦
推薦第3号	人権擁護委員の推薦について	令和6年12月31日をもって任期満了となることから、引き続き金丸克巳氏を推薦するもの	推薦
推薦第4号	常総市各種委員の推薦について	市長及び教育委員会教育長より推薦を求められたので推薦するもの 【介護保険運営協議会委員】堀越 道男、柴 典明、大澤 清 【下水道事業審議会委員】塚本 治男 【(一財)水海道あすなろの里理事】岡野 一男	推薦
選挙第1号	茨城西南地方広域市町村圏事務組合議会議員の補欠選挙について	茨城西南地方広域市町村圏事務組合議会議員1名の欠員が生じたため、茨城西南地方広域市町村圏事務組合規約第8条の規定に基づき、組合議会議員1名の補欠選挙を行うもの 当選議員：佐藤 剛史	当選

※議長は採決に加わらない

≪会議の欠席等の状況≫

- 9月4日 【本会議】(遅参) 入江 昶史、茂田 信三
- 9月10日 【予算特別委員会】(欠席) 塚本 治男
- 9月10日 【決算特別委員会】(遅参) 塚本 治男

令和6年9月

定例会議 議員の賛否

議案などに対して賛否の分かれたものを掲載しています。★議員氏名は、会派ごとに議席番号順に掲載しています。

○：賛成 ×：反対 棄：棄権

会派	常総の志						令明会					無所属の会		未来		日本共産党	立憲民主党	会派所属無し	
	中島 義昭	塚本 治男	倉持 守	中村 博美	中村 安雄	坂巻 文夫	佐藤 剛史	柳井 真吾	石塚 剛	草間 典夫	吉原 晴照	大澤 清	岡野 一男	坂野 茂実	小林 剛	堀越 道男	入江 昶史	柴 典明	茂田 信三
認定第1号	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	×	○	×
請願第5号	×	×	×	×	×	※	×	×	×	×	×	○	○	×	×	○	○	○	×

※議長は採決に加わらない

決算特別委員会を開催しました

決算特別委員会とは

議長と議会選出の監査委員を除く17名で構成されています。決算特別委員会では、前年度の予算が目的に沿って適切に使われているかどうかを審査し、改善点や要望を市に伝えて今後の予算や事務執行につなげる重要な役割を担っています。



7会計を審査、分科会付託へ

決算特別委員会に付託されました令和5年度認定第1号から第7号までの一般会計、特別会計および水道・下水道事業会計等、合わせて7会計について、9月10日・11日に特別委員会を開催し、説明と質疑を行い、さらに詳細な審査のために分科会を設置して付託し、慎重に審査を行いました。

令和5年度歳出歳入決算額

(単位 万円)

会計名		歳入総額	歳出総額
一般会計		2,643,483	2,485,621
特別会計	国民健康保険	631,730	630,700
	後期高齢者医療	157,407	157,227
	介護保険	561,451	542,904
	介護サービス事業	2,030	1,854
水道事業	収益的収支	160,419	147,780
	資本的収支	35,128	72,943
下水道事業	収益的収支	153,012	143,255
	資本的収支	116,860	135,316

決算特別委員会委員長報告

9月25日に決算特別委員会を設置し、各分科会での審議結果を報告しました。審査の結果、令和5年度決算は7会計とも認定となりました。



分科会での審議の様子

第一分科会（総務委員会）

市長公室 会計課
 総務部 議会事務局
 市民生活部 監査委員事務局 ほか

所管
事項



第二分科会（文教厚生委員会）

福祉部 教育委員会

所管
事項



第三分科会（建設経済委員会）

産業振興部 都市建設部
 農業委員会

所管
事項



県に要望書を提出

県への要望書を
 県西市議会議長会へ提出！

9月11日に開催された議員全員協議会で、「鬼怒川架橋（仮称）新滝下橋を含む主要地方道取手豊岡線バイパスの早期整備を求める要望書」を茨城県に提出することが決定となりました。この要望書は10月2日に開催された県西市議会議長会臨時会で可決となったことから、茨城県市議会議長会定例会で議決後、茨城県へ提出されます。

要望書提出の流れ

常総市議会

県西市議会議長会

茨城県市議会議長会

茨城県



こども向けパンフレット 「市議会ってなあに？」 を配布しました

市内中学校5校へこども向けパンフレット「市議会ってなあに？」を配布いたしました。

常総市の未来を担う若者たちが、市議会に興味を持つきっかけとなれば幸いです。こちらの内容はホームページでもご覧いただけますので、ぜひご覧ください。



こちらからご覧いただけます。



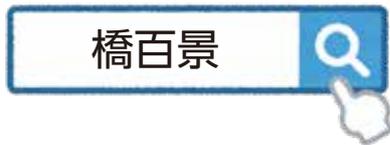
橋百景の写真が

投稿しやすくなります！

最終ページに掲載しております橋百景について、これまで写真の応募は、事務局にご持参いただくかご郵送いただいておりますでしたが、この度、いばらき電子申請・届出サービスを利用してスマートフォンやパソコンで簡単に投稿できるようになりました。具体的な方法は、左記のとおりとなりますので、ぜひ皆様の周りの橋の写真の投稿をお待ちしております。



01. 応募フォームにアクセス



スマートフォンで読み取るか、常総市のホームページで「橋百景」と検索してください。いばらき電子申請・届出サービスの「議会だより「かけはし」橋百景投稿フォーム」が応募フォームです。

02. 応募フォームから画像を送信

利用者登録をせずに申し込みができます。必要事項を入力して、画像を送信してください。



利用者登録される方はこちら

こども向けパンフレット「市議会ってなあに？」を配布

橋百景の写真が投稿しやすくなります！

